

ムカデ君と  
ヨシ君とイモ虫君。

ある日のこと、仲良しのムカデ君と  
ヨシ君とイモ虫君が徐々に会い、  
イモ虫君の家で宴会が始まりました。

しばらくして酒が残り少なくなると、  
「ちょっと近所の酒屋まで  
買いに行ってくょうか？」と  
イモ虫君が言い出しました。

「イモ虫君の足では明日になってしまう。  
僕が行こう。」と、ヨシ君が言い出しました。

「いやいや、ヨシ君はピョンピョン跳ねるから  
酒がこぼれちゃう、僕が行くよ。」と  
ムカデ君が言って、いそいそと部屋から出て行きました。

ヨシ君とイモ虫君は、ちびりちびり飲んで待っていましたが、  
なかなかムカデ君が帰ってきません。

「ううん、遅いな～。迷子になったのかな？」とイモ虫君。  
「おかしいな、探しに行くよ。」とヨシ君が部屋から出ると、  
なんとムカデ君は玄関で靴を履いているところでした。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789;:<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.